

みずほCustomer Desk Report 2019/02/13 号 (As of 2019/02/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.51 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.40	1.1279	124.54	1.2860	0.7063
SYD-NY High	110.65	1.1340	125.27	1.2909	0.7102
SYD-NY Low	110.35	1.1258	124.47	1.2833	0.7054
NY 5:00 PM	110.49	1.1327	125.14	1.2891	0.7096

NY DOW	25,425.76	372.65	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,414.62	106.71	日本10年債	-0.0200	1.00bp
S&P	2,744.73	34.93	米国2年債	2.5028	1.64bp
日経平均	20,864.21	531.04	米国5年債	2.4923	2.35bp
TOPIX	1,572.60	33.20	米国10年債	2.6850	3.23bp
シカゴ日経先物	20,940.00	490.00	独10年債	0.1310	1.30bp
ロンドンFT	7,133.14	4.03	英10年債	1.1855	0.85bp
DAX	11,126.08	111.49	豪10年債	2.1085	0.85bp
ハンセン指数	28,171.33	27.49	USDJPY 1M Vol	6.00	▲0.05%
上海総合	2,671.89	18.00	USDJPY 3M Vol	6.84	▲0.02%
NY金	1,314.00	2.10	USDJPY 6M Vol	7.40	▲0.04%
WTI	53.10	0.69	USDJPY 1M 25RR	-0.86	Yen Call Over
CRB指数	178.21	1.09	EURJPY 3M Vol	7.50	▲0.06%
ドルインデックス	96.72	▲0.34	EURJPY 6M Vol	8.05	▲0.13%

東京	東京時間のドル円は110.40レベルでオープン。日経平均株価の堅調推移に加えて、仲値にかけては実需勢のドル買いワロー等を受けてじり高推移となり110.55まで上昇。その後、一旦は伸び悩み110円台前半まで下押しされたものの、米共和党のシールズ上院議員が「国境警備予算を巡る協議で原則合意に達した」と述べたこと等から再び上昇に転じ一時110.65まで上昇。その後は小幅に水準を下げ110.55レベルにて海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.55レベルでオープン。ロンドン時間は目新しい材料が無い中、110.41-110.65で小幅な値動き。110.41レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2865レベルでオープン。朝方は米政府再開鎖回避への期待感からドル買いが進み、一時1.2833まで下落するも続かず。その後は離脱交渉の最新報告を控え、買い戻しの動きとなり、1.2860レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	海外市場のドル円は110.41レベルでNYオープン。朝方に「トランプ米大統領は米与野党が合意した国境警備予算案の承認について、まだ判断を下していない」と伝わる中、米金利の低下を背景に110.35まで下落。しかし、ダウ平均が200ドル超高で寄り付いたことや、ユーロ円の上昇にサポートされ、110.55まで反発。午後にトランプ米大統領が「政府機関の閉鎖はないだろう」、「3月1日の対中追加関税の発動期限を遅延させることは可能」と述べたことや、ダウ平均が上げ幅を拡大する中、ドル円は底堅い推移が継続し、110.49レベルでクロスした。ユーロドルは1.1290レベルでNYオープン。朝方は、海外時間の流れを引き継ぎ、ユーロ買い優勢な展開となり1.13台を回復。その後も米金利低下を受け、じりじりと上昇し、前日高値(1.1330)を上抜けるとストップを巻き込みながら一時1.1340まで上昇。新規材料待ちで、終盤は小動きとなり、結局1.1327レベルでクロス。なお、パウエルFRB議長の講演が行われたが、目新しい発言はなく、ドル円やユーロドルの反応は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:牧・森谷

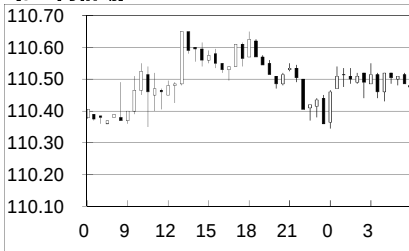
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
2月12日	17:00	欧 バイトマン・ドイツ中銀総裁 講演	「景気減速は想定以上に少し長引いている」	
	22:00	英 カーニーBOE総裁 講演	「貿易の不透明感、世界投資の足かせに」	
2月13日	01:00	米 パウエルFRB議長 講演	「全国レベルの指標は力強い景気を示している」	

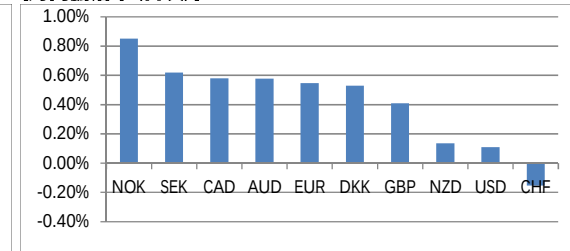
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
2月13日	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	1月 -0.7%/1.9%	0.2%/2.1%
	18:30	英 CPIQ7(前年比)	1月 1.9%	1.9%
	19:00	米 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -0.4%	-1.7%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月 0.1%/1.5%	-0.1%/1.9%
	22:50	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	22:50	米 ボスディック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
2月14日	02:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.90-110.80	1.1300-1.1390	124.70-125.70

[マーケットインプレッション]

昨日の海外時間のドル円は、方向感なく推移。米政府機関閉鎖が回避される見通しと米中協議に対する楽観的な見方によって、リスク選好が高まり、米国株・米金利が上昇する展開となったが、ドル円の上昇は限定的なものにとどまった。リスクセンチメントの改善がみられる中、米経済指標等を確認しながら本格的にドルが買われる展開となれば、ドル円はもう一段の上昇の余地はあると思われる。